



Pear & Pair 通信 第42号

●お知らせ - 推進室愛称&ロゴ等募集について-

本ニュースレターのタイトルである Pear & Pair は、鳥取県の名産である梨と、男性と女性の協働を表現していますが、このたび誰もが力を発揮できるキャンパスづくりをめざす『ダイバーシティキャンパス推進室』として、新たな名称、ロゴ、マーク等を作成することにしました。

募集期間は、令和3年(2021年)10月1日～10月31日まで
募集作品は、愛称、ロゴ、マークなどで、作品に関する簡単な説明と、氏名、所属、連絡先を添えて推進室まで応募ください。様式は問いません。詳しくは、以下をご覧ください。

<https://www.tottori-u.ac.jp/secure/18868/naming.pdf>

この号の内容

- ◆お知らせ
- ◆活動報告①
ライフプランセミナー「キャリアを考えよう！」録画配信中
- ◆活動報告②
『生理』に関する動画配信を行っています
◆このひとに聞く 三好 陽子 准教授
- ◆お役立ち情報
介護セミナーを予定しています
- ◆つぶやき
東京2020パラリンピック

●活動報告① - ライフプランセミナー「キャリアを考えよう！」 録画配信中-

本年2月26日にオンラインで実施したライフプランセミナー『キャリアを考えよう！』の録画配信を12月31日まで行っています。



セミナーは、鳥取県東部不妊専門相談センターの橋本看護師とダイバーシティキャンパス推進室の長谷コーディネーターが講師を務め、妊娠適齢期、不妊の原因、産み時とライフプランなど出産そのものに関わる内容をはじめ、キャリアを考えるうえで知っておきたい介護と育児のダブルケアや、妊娠・出産・育児期における働くための法律について話をしています。

妊娠は、閉経するまで可能であると思っている方も少なくなく、妊娠・出産を考えている当事者だけでなく、パートナー、お子さんへの情報提供として、ご覧いただければと思います。

●活動報告② - 『生理』に関する動画配信を行っています-

本年度学生スタッフが、心身の悩みや経済的負担といった生理に関する問題に着目し、調査を行なうなかで、生理用品のメーカーであるユニ・チャーム社が“生理にまつわる知識向上と相互理解を促進”をテーマに企業向けに研修を行っていることを知り、動画の提供を受けました。

研修は、生理の知識を身につけることで企業内における男女間や女性間の相互理解を促進することを目的とされており、教職員の皆さまや学生にも見ていただけるよう現在公開しています。

生理の問題は、学び働きやすいキャンパスをつくる上で重要な問題であり、男性も含めて全員が理解を深めることは是非とも必要であるということが大学の執行部や学部長の会議でも議論されました。

動画は、①女性の健康基礎知識編 約20分、②生理ケアの選択肢編 約15分、10月31日まで公開しています。

https://manaba.center.tottori-u.ac.jp/ct/page_366583c110803



★このひとに聞く 三好 陽子 さん 医学部 准教授

4月からダイバーシティキャンパス推進室室員を務めております。多種多様な人々が互いの考え方の違いや個性を受け入れながら、ともに成長できるキャンパスをめざして、微力ながら尽力いたします。

私の専門は、老年看護学です。高齢者ケアの実践に基づく研究成果を臨床や教育現場に還元していくことを大切にしています。高齢者は長く生きてこられた分、その人生はさまざまであり、特に個体差・個人差が大きく、多様性への理解が最も大切な視点です。明治・大正・昭和生まれの異なる生活歴の人々が、令和の時代に共存していることは、超高齢社会である日本の強みと考えます。



私のストレス発散法はヨガです。週末には、地域の公民館でヨガタイムを楽しんでいます。インストラクターは30歳代、生徒は20歳～80歳代まで幅広く異世代間交流しています。コロナ禍であってもオンラインレッスンで、続けることができています。ヨガ友の「孫に習って頑張って参加したよ」というパソコン越しの声にほっこり癒されることもありました。

あらゆるものを取り巻く環境が目まぐるしく変化して、将来の予測が困難な時代ではありますが、すべての人々にとって住みやすい社会となるよう願います。

★お役立ち情報

-介護セミナーを予定しています-

介護が必要となる理由について、厚生労働省が毎年行っている国民生活基礎調査によると、以下が上位となっています。

1. 認知症
2. 脳血管疾患（脳卒中）
3. 高齢による衰弱
4. 骨折・転倒
5. 関節疾患（リウマチなど）

介護は突然始まるケースが多く、介護を担う家族は覚悟や準備もないまま、これまでの生活からの変化を余儀なくされます。一方、自分はまだまだ元気だと、手助けを嫌がる被介護者もおられます。

ダイバーシティキャンパス推進室では、12月に介護セミナーを予定しております。認知症高齢者と支える家族について考えてみたいと思います。詳細が決まりましたらお知らせします。

★つばゆき

～東京2020パラリンピック～

自国での開催により、多くの方が競技を観戦されたのではないのでしょうか。競泳では、腕や足に障がいをもつ選手が身体全体を躍動させ、頭でタッチする姿や、マラソンでは、弱視で66歳の女性が3時間半を切るタイムでゴールするなど、見ていて胸が熱くなりました。一方、車椅子バスケットボールは、車椅子を器用に操り、ディフェンスで相手を動かさなくするなど、車椅子バスケットボールならではの迫力と面白さに見入りました。パラスポーツの面白さを知ったと同時に、健常者のスポーツと比較するものではないことに気づかされた大会となりました。

ご要望・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550
鳥取市湖山町南4丁目101
ダイバーシティキャンパス推進室（地域学部棟4階）
TEL: 0857-31-5769 または 内線2166
FAX: 0857-31-5797
Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp
HP: <https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>

室長：細井 由彦 理事
専任コーディネーター：長谷 順子（キャリアコンサルタント）



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室